

中村設計新聞

第四号

六月二十日(土)晴れ
設計の中で出来るエコロジー対策を学ぶために研修を行いました。

昨今、地球温暖化をはじめ様々な環境問題が話題となっています。そこで設計の中で出来るエコロジー対策をより深く学ぶためメーカーに直接お話を聞いて、実際にエコロジー対策を行っている建物を見学してきました。

見学コース

- ① 太陽工業株式会社による
太陽光パネル説明・質疑
- ② 東邦レオ株式会社による
屋上、壁面緑化説明・質疑
- ③ サンサ右京 見学

～屋上緑化・壁面緑化～

当社では、平成十五年に龍谷大学至心館において、省エネを目的とした屋上緑化(セダムを敷きつめた)システムを取り入れました。そして、省エネ目的だけでなく、例えば、集客効果のために屋上庭園を設けたり、防火防熱対策であったり、隣接建物からの視線を壁面緑化で遮る、騒音の低減など、ここ数年で多様な目的に合わせた設備や商品化も更に進みました。設計者として発注者の意図や要望を的確に捉えた緑化提案が強く求められます。
この日は、サンサ右京に出掛け屋上庭園などを視察しました。建物は階段状になっており、庭園は花が四季を通

じて咲き、市民が楽しめ、憩える場としての工夫がなされています。また、都市空間としての修景にも配慮がされていると思えました。
今日の研修で特に、完成後の管理方法やコスト抑制、また、新築のみならず既存建物に対する計画時の課題や問題点があることなど、改めて認識することができました。

～太陽光パネルについて～

私は、太陽光パネルと聞いてイメージするのは、建物の屋上にある黒いパネルでした。
しかし近年太陽光パネルは、ただ屋根に置くだけではなく、自然採光と遮熱を同時に行えるシーソー型をはじめ、サイズや形状を自由に設定できるものがでてきました。

今まで太陽光パネルを意匠的に使うことが難しく「省エネのために設置する」という考え方から「デザインの一部として太陽光パネルを設置する」という考え方に変わっていくのではないかと思います。

エコという時代に合わせて機能的にも使用用途的にも進化していく太陽光パネルは、より建築を楽しくさせていくと思います。

レポート・西村 亮人

～サンサ右京を見学しての感想～

太陽光パネル、トップライトなど省エネ対策が施されていたが、費用、設置面積を考えると、普及するには難しいと思った。
太陽光パネルは今後、いかに意匠的に使うかが問われるようになると思う。

屋上庭園は、市民が直接利用でき、楽しめ、安らぎのある空間として、効果的に配置されていた。

屋上庭園は、緑が少ない街中でも居心地の良い場所となっていた。
休日だったので、屋上緑化部分を多くの利用者が有意義に使用していた。



～アンケート結果～

今回、太陽光発電について学び、興味深かったことは

- ・ シーソー太陽電池について 6人
- ・ 太陽光発電による省エネ効果 2人

今回、緑化について学び、興味深かったことは

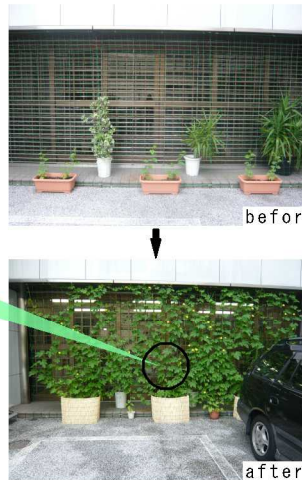
- ・ 屋上緑化について 4人
- ・ 緑化による省エネ効果 3人
- ・ 設置費用について 1人

今回のアンケートでは、温暖化、環境問題に関する意見が、大多数を占める結果となりました。

～ゴーヤの成長記録2～

エコ活動を目的に始めたゴーヤのグリーンカーテンですが、育て始めて1カ月でこれでもかという程成長しています。実もたくさん生って来ました。もちろん、カーテンとしての役目も十分はたしています。さらに見た目も無機質な建物だけよりも緑があることで感じる暑さに違いがあると思います。そして葉が周りの熱を奪うので近くに寄ると温度差も感じます。これも壁面緑化であり維持も準備も容易に行えます。

建築によって行えるエコ対策を今回研修しましたが、簡単な事でもエコ対策になると改めて思いました。



6月4日(木)

7月7日(火)



ゴーヤの調理法は、よくしゃぶる。ゴーヤの皮は、よく洗って食べると、夏バテ防止に効果的。ゴーヤの皮は、よく洗って食べると、夏バテ防止に効果的。

